

# 2019大阪民医連共同組織交流集会

## 「安心して住み続けられるまちづくりの実践」を交流



中区のたまり場の取り組みを発表



リム・ボン立命館大学教授

「まちづくり」とは何か、リム流まちづくりのすゝめ」をテーマにした記念講演では、私たちの日常活動

午後からの分科会では、まちづくりや社保平和活動、支部活動や班会、健康づくり、口腔ケアや様々な健康体操の実践、介護体験など、9つの会場に分かれて交流。健康友の会みみはらからは8つの演題を報告しました。

参加者からは、「まちづくりをどうしていけばよいか具体的に理解が出来た」「健康体操は初めてだったのでこれから実践したい」「いろいろな活動や取り組みを知ることが出来、自分たちでは思いつかないことが、たくさん交流できた」などの感想が寄せられました。(本部・組織部 篠原)



小寺富美代

「三風太鼓」による力強く元気な太鼓演奏で開会。会場が大きな拍手につつまれて交流集会はスタートしました。その後、実行委員会メンバーによる「こんなたまり場あったらいいな」の寸劇。前回の交流集会から2年が経過し、地域



健康づくりの分科会でスクエアステップも体験

### みみはらグループから95人参加

12月8日、「2019大阪民医連共同組織交流集会」がエル・おおさかで開かれ、各法人から共同組織の仲間・職員合わせて700人が参加。みみはらグループからは友の会・職員合わせて95人が参加しました。

のたまり場の役割や地域をつなぐ役割がどう変化してきたか演じられ、その中で医療生協かわち野と健康友の会みみはら中区ブロックの取り組みも報告されました。立命館大学リム・ボン教授の「まちづくりとは何かリム流まちづくりのすゝめ」をテーマにした記念講演では、私たちの日常活動

### 医療の現場から Vol.16

#### 入院食事代の減額手続きをしましょう

A氏30代の世帯は市民税非課税、健康保険組合に加入され障害者医療証があります。高かったのは、医療費よりも食事代が原因とわかり「標準負担額減額認定証」や「療養費払い」を紹介しました。

「標準負担額減額認定証」は、非課税世帯の方が、あらかじめ保険者に申請して交付を受け、病院に提示することで食事代「療養費支給申請書」

代1食460円が左記のように減額されます。
・69歳以下 標準負担額減額認定証(適用区分A)
・70歳以上 標準負担額減額認定証(低所得者Ⅱ)

を取り寄せ、非課税証明書、領収証を添えて健康保険組合に提出して食事代の払い戻しをうける方法です。A氏はこの方法をとりました。

問い合わせ  
・国民健康保険、後期高齢者医療の方はお住いの市区町村担当窓口  
(注)「療養費払い」はありません  
・協会けんぽ、健康保険組合など加入の医療保険担当  
治療や薬と同じ療養の保険給付(高額療養費の対象)だった食事代は、1994年に保険の給付から外され、食事代1日600円が自己負担となりました。2006年4月、入院時の食事代1日単位が1食単位に変更され、1食260円になり数回の引き上げで現在1食460円です。

戸田 輝子

### 昭和の記憶

大阪市阿倍野区 永井 由美子(78歳)  
老健でカラオケの時間、利用者さんと昭和にタイムスリップ。記憶から遠のいてた日々が蘇って歌うことが出来ました。

いきいき生活  
高石市西取石 蔵井 友美(32歳)  
同人社報「いきいき生活」に載っている「子どもの急な発熱対応」が良かったです。子どものことに関する情報が嬉しいです。

桜を見る会  
南区庭代台 林 順子(74歳)  
「桜を見る会」の二ユー入が毎日のように流れています。名簿をシュレツダーにかけて「ありませぬ」なんて、安倍さんの子どもだましの言葉にとても腹が立ちます。徹底的に追及して下さい。国民をバカにしています！  
貴重なお話  
西区鳳東町 堀川 宗彦(59歳)  
私の戦争体験を心痛く思いながら読んでいます。体験者が少なくなっていく中、貴重な話だと思います。

身近です  
和泉市光明台 岩木 貴代子(69歳)  
すべて身近な記事でホッとさせてもらっています。

胃カメラに初挑戦  
北区常盤町 鳥井 薫(50歳)  
先日、初めて胃カメラをしました。定期的に胃の調子が悪く、勇気をふりしぼって受けた所、何も異常がなかったため良かったです。でも二度と胃カメラはしたくないです！

ボケ防止  
堺区東湊町 森原 都美(74歳)  
ボケ防止になります。ありがとうございます。